冬作物新品種の紹介

—昭和 62 年農林水産省登録—

山下 淳

(農業研究センター, つくば市観音台, 〒 305)

New Winter Crop Cultivars Registered by the Ministry of Agriculture,
Forestry and Fisheries in 1987

Atsushi YAMASHITA

Director of Winter Crop Science Department, National Agriculture

Research Center, Kannondai, Tsukuba, 〒 305

KEY WORDS: New cultivar, barley.

昭和 62 年 10 月 27 日付で農林水産省登録となった冬作物新品種について, 農林水産技術会議事務局の資料「昭和 62 年農林水産省育成農作物新品種 (冬作物)」をもとに, 冬作物の新品種の来歴, 特性概要, 新品種命名の由来について紹介する。

The following new cultivars of winter crops were registered by the Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) on October 27, 1987. The characteristics as well as breeding procedures are summarized herewith based on the notification of "New Crop Varieties" by MAFF (Winter Crops) issued by the Secretariat of the Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council.

大麦 (Barley)

ニシノチカラ (二条大麦農林 12 号), 旧系統名: 西海皮 38 号, 九州農業試験場育成. 1977 年栃木県農業試験場栃木分場において, 大麦縞萎縮病抵抗性, 良質, 強稈, 多収品種育成を目標に, 大麦縞萎縮病抵抗性の南系 R 1303 を母親とし, (新田二条 1 号 × Klages) F₁ を父親として人工交配を行い, 1979 年度に栃木県農業試験場栃木分場において選抜した大麦縞萎縮病抵抗性 F₄ 系統を以降九州農業試験場で系統育種法により選抜固定が図られた. 1983 年度に「西海皮 38 号」と命名され, 関係各機関において地域適応性を検定してきたもので, 1986 年度は雑種第 11 代に当たる。

並性の二条皮麦である。叢性はやや直立で株はやや閉じる。稈長は中で「カワサイゴク」並である。稈の太さは細い。稈や葉鞘のワックスは中程度である。葉色はやや濃い。穂長はやや長く, 1 穂着粒数は中で, 着粒密度は中である。穂型は矢羽根型で, 成熟期に穂がやや垂れる垂頭種である。穂の抽出は良い。芒は長く粗である。ふ色は淡黄色である。

粒は中型でやや大粒である。リットル重と千粒重が大きく, 原麦粒の見かけの品質は良い。

播性は I で茎立性はやや早い。早生種で, 「カワサイゴク」より出穂期と成熟期で 2 日程度遅い。耐倒伏性はやや強で「カワサイゴク」より強稈であるが, 上部の稈がしなやかでなびく。

穂数は多く, 収量性は安定して多収である。

粒質は硝子質で, 精麦歩留は中である。精麦白度はやや良い。搗精時間は中である。整粒歩合は高い。

大麦縞萎縮病とうどんこ病に極強である。赤かび病にやや強で, 「カワサイゴク」並である。穂発芽性はやや易である。

九州および中国, 四国の平坦地に適する。命名は西日本の大麦作の生産性向上の一翼を担う力量

を有する品種という意味（西之力, Nishinochikara）.

Nishinochikara (Two-rowed barley Norin 12) : Developed at Kyushu Natl. Agr. Exp. Stn. from the cross made in 1977 at Tochigi Pref. Agr. Exp. Stn., i. e. Nankei R 1303// Nitta Nijo 1/Klages, early heading, early maturing, moderately shortstemmed with moderately long, nutant spikes, moderately large grain and moderately susceptible to sprouting. Highly resistant to barley yellow mosaic disease and to powdery mildew, moderately resistant to scab, outyielding predominant cultivar Kawsaigoku. Superior in quality of pearled agraingrain to standard cultivar. Promising in the lowland area of kyushu, Chugoku and Shikoku districts, especially in the fields infected with barley yellow mosaic viruses.

ミカモゴールドン（二条大麦農林 13 号）, 旧系統名：関東二条 23 号, 栃木県農業試験場栃木分場育成.

1975 年栃木県農業試験場栃木分場（農林水産省育種指定試験地）において, 大麦縞萎縮病抵抗性, 良質品種の育成を目標に, 大麦縞萎縮病抵抗性の南系 B 4718 を母とし, 良質の新田二条 1 号（後のはるな二条）を父として人工交配を行い, F_3 で大麦縞萎縮病抵抗性系統を選抜, 以降派生系統育種法で選抜固定を図ったものである. 1984 年度から「関東二条 23 号」の系統名で地域適応性を検定してきたもので, 1986 年度は雑種第 12 代に当たる.

叢性は直立型, 葉色はやや淡く, 葉鞘のワックスはやや多い. 稈長は「あまぎ二条」と同程度かやや短く, 中である. 穂は直立し, ふ色は淡黄色で, 穂型は矢羽根型である. 穂長は短で「はるな二条」並である. 穂数は「あまぎ二条」と同程度かやや多い. 株はやや閉じ, 草姿が良い.

粒の大きさはやや小で, 千粒重は「はるな二条」と同程度で中である. 原麦粒の見かけの品質は「はるな二条」と同程度の中の中である. 穀皮の厚さはやや薄で「あまぎ二条」よりやや厚い.

播性程度は I で, 茎立性は早い. 出穂期, 成熟期ともに早で, 「はるな二条」と同程度かやや早い早生種である. 耐倒伏性は中で「はるな二条」と同程度である. 大麦縞萎縮病に強, 赤かび病にやや強, うどんこ病に弱である.

収量性は中で「はるな二条」と同程度である. 整粒歩合はやや少で「あまぎ二条」と同程度かやや劣る. 穂発芽性は「あまぎ二条」と同じくやや易である.

麦芽品質の総合評点は「あまぎ二条」より優れ, 「はるな二条」と同程度である.

関東以西の温暖地における平坦地帯に適する. 命名は醸造品質に優れることを意味する（美醸黄金, Mikamo Golden）.

Mikamo Golden (Two-rowed barley Norin 13) : Developed at Tochigi Pref. Agr. Exp. Stn. from the cross made in 1975, i. e. Nankei B 4718/Nitta Nijo 1, moderately shortstemmed with short, erect spikes, moderately short grain. Resistant to barley yellow mosaic disease, moderately resistant to scab, susceptible to powdery mildew, moderately susceptible to sprouting. Intermediate yield potential and superior in malting quality to high qualitycultycultivar. Promising in the lowland area from Kanto to Kyushu district, especially in the fields infected with barley yellow mosaic viruses.